

令和6年度 第2回 深伊沢小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 程 令和6年8月26日（月）14：30～15：45

2 場 所 深伊沢小学校 図書館

3 挨 拶

- ・委員長 ・あと1週間で2学期が始まるが、子どもたちが元気に過ごせるようにこれからのことについて話し合いたい。
- ・校 長 ・深伊沢里井水会の皆さんには草刈り、見守り隊の方には毎日の登下校、おやじの会の方には、鯉の池の水抜き、清掃作業でお世話になった。先日も、廃品回収やPTAの環境整備を行っていただき、感謝している。2学期がもうすぐ始まるが、本日は全職員が集まっているため、みなさんで忌憚のない協議をお願いしたい。

4 熟議内容

（1）学校関係者評価について

- ・昨年度の学校関係者評価を参照しながら、今年度の学校関係者評価の評価項目と本年度の活動（具体的な手立て）と指標を説明する。基礎学力の定着「ボランティアの活用」については、回数ではなく、児童アンケートによる検証に変えた。また、評価項目に「非認知能力の育成」を加えた。（別紙参照）

（2）本年度の活動について

- ・学力向上・ICT活用について
協働的な学びと個別最適な学びにICTを活用しながら取り組んでいる。
- ・非認知能力の育成について
縦割り班活動や縦割り班掃除を中心にすべての教育活動で取り組んでいる。

（3）分散会（3グループに分かれてテーマ別に話し合う。）

A 学力向上・ICT活用について

- ・子どもたちが楽しく学校に来られるのが学力向上の土台である。
- ・ICTに苦手意識のある児童はいないか。→児童は柔軟性があり抵抗感はない。
- ・読書に親しんでいるか。インターネットで検索すると、すぐに調べたいことを調べることができるが、本などで回り道をしながら調べる過程も大切ではないか。
- ・AIを使って書いてある作文を見分けるのは難しいのではないか。
- ・協働的な学びで、一人になってしまう児童はいないか。
→一人で考えるのもよいが、最終的につないでいくのが教師の仕事である。
- ・今はYouTubeなど子どもたちにとって、たくさんの刺激があり、学校の授業も普通にしていたら、つまらなく感じているのではないか。
- ・習字は今の時代も習っている子が多い。
- ・児童は教室で落ち着いて授業に参加できているかが知りたい。
- ・全国学力学習状況調査の本校の状況について

B 非認知能力の育成について

- ・縦割り掃除が後期であるのはなぜか。
- 前期は学級づくりに力を入れ、学年に応じた掃除の仕方を行っている。縦割り掃除で上級生が下級生を教えている。小さい学年の子と接することで、高学年にリーダーシップが生まれる。また、クラスとは違う姿が見られる。違う自分を発見できるよさがある。
- ・下校時に地域の危険箇所を子どもの目線で自主的に見て回っていたが、上の学年の子が下の学年の子の面倒を見ていた。
- ・他校との交流も、いろいろな子と関わる機会ができて、社会性を高めるのによい。
- ・自制心ややり抜く力を学校だけで育成していくのは難しい。
- ・家でゲームやYouTubeをやりたい気持ちは分かる。やることをやってからとわが子に伝えている。
- ・掃除でも「最後までしっかりと！」と声かけを行っている。
- ・保育園でも数年前から非認知能力を行っているが、公立と私立でとらえ方が違う。保育にどう落とし込むかが課題である。
- ・今まで学校教育で行ってきたことを形として表したのが「非認知能力」である。

C 仲間づくり（人権教育・特別支援教育の視点を含めて）について

- ・小学校でのつながり、絆が中学校になっても表れているのを富士フィルムの祭りで見ることができた。将来、大人や親になった時にもつながれる地域である。
- ・縦割りの教えあいは、とてもよい。
- ・単級でメンバーが変わらない。一人ひとりのよさを大切にしながらつながっているが、人間関係が崩れた時にその子のよさが引き立つような取組ができるとよい。
- ・SNSのいじめなどが起こりやすいと聞く。小学生はまだ保護者の管理が必要である。親子の関係がしっかりしていると、何があってもきちんと対応できる。

4 その他

- (1) 2学期の学校行事について
- (2) 今年度のFCE（深伊沢コミュニティイベント）について

5 教育委員会より

- ・協働的な学びの授業動画を見られて、これが授業かと驚かれた方もみえるかもしれないが、自分でめあてを見つけて、仲間とともに探求していくのが、今の日本の教育のめざしている学びのスタイルである。一人で学んでいる子が気になる方もみえるかもしれないが、それをつないでいくのが教師である。
- ・非認知能力の土台がないと学力は伸びないことが分かってきた。縦割り班活動を通じて、非認知能力を身につけさせようとしているのはいいところに目をつけている。
- ・分散会では、膝を交えてそれぞれが「自分はこう思う」とかなり話し合っていた。なかなか30分間では語りつくせないと思うが、これをきっかけに話題にして、進めていっていただきたい。